

かじたま 鯉中魂



学級通信
鯉沢中
3年生
2019年4月18日
No. 3
いよいよ地区選手権



道徳「橋の上のオオカミ」～本当のやさしさ～



読み物について

初めての道徳では、小学校低学年で学習する有名なお話を使って授業を行いました。

1人しか渡れない一本橋。オオカミがそこを渡っていると、小さなウサギが向こうから来ました。「戻れ、戻れ！オレが先に渡るんだっ！」オオカミは怖い声で言いました。「えへん、えへん！」オオカミは、このイジワルがとても面白くなり、キツネと出会っても、タヌキと出会っても、「戻れ、戻れ！」と追い返します。

ある日、橋の上で、大きくて強そうなクマと出会ったオオカミは、イジワルをされると思い、あわてて「私をもどります」と言いました。クマは、「ほら、こうすればいいのさ」と言ってオオカミを抱き上げ、ストンと後ろにおろしてやりました。オオカミは、去っていくクマの後ろ姿をいつまでも見送りました。次の日、オオカミは橋の上でまた小さなウサギに会いました。あわてて引き返そうとするウサギを、オオカミはやさしく呼び止め、ウサギを抱き上げ、後ろにそっとおろしてやりました。オオカミは、前よりずっといい気持ちでした。



● オオカミの優しさ と クマの優しさ の違いは何でしょう？(一部紹介)



● オオカミがクマの優しさに近づくためにはどうしたら良いでしょう？

- ☞ クマの優しさは相手のことを思ってとっている行動だが、オオカミの優しさは、相手の考えや思いなど関係なく、ただ気持ちがいいからしていることであり、本当の優しさではない。
- ☞ クマは自主的に行ったが、オオカミは気づかされて行った。気づかされても、以前は意地悪していたのだから、また同じことをするかもしれない。でも、クマにされて「いいな」と思って行動を変えたオオカミは優しいと思う。
- ☞ オオカミは、クマに抱っこされて、自分もやってみたいと思ったから、自主的ではない。しかし、オオカミは、自分がやられて嬉しかったから相手にするという考えをもっている。これは決して押しつけではない。相手も嬉しいし、自分も嬉しい。クマの優しさについて、オオカミは自分を変えた。クマも善。オオカミも善。一番いけないのは、一方的に押しつけて自分が快感を得ること。これはエゴ。相手は苦しい。